

番号	第 6 回 case11
年齢(代)	40 代
性別	女性

S (subjective) : 主観的情報	
主訴	39w 骨盤位
既往歴	(アレルギー)
	(手術歴)なし
	(出産) (事故)
家族歴	(父) (母) (子)x-15 年に出産
現病歴	(医師による診断名)骨盤位
	(発病様式・内容・経過) x 年 9 月、初診日より 1w 後に出産予定だが、骨盤位が治らないという事で鍼灸を選択し来院。 来院前に TEL 有、担当医師に鍼灸を受けても良いか確認してもらい、許可を得て頂いた。 大学病院で帝王切開の予定となっていた。 第一子を x-15 年に出産。
	(服薬)

O (objective) : 客観的情報	
初診日	x 年 9 月
所見(脈・舌・バイタル等)	(バイタル)t:36.5° spO2:99% (脈) 実、洪 (舌) (腹) 大分張っているが、鳩尾付近はまだ余裕あり
	(硬結) (圧痛) (腫脹)

A (assessment) : 評価	
評価・弁証	(弁証)
	(評価法) (流派)

P (plan) : 計画 (治療)	
計画・治療・指導	(取穴) ① 逆子体操 医師から許可を得て鍼灸の前に 15 分 ② 1 上側臥位 肩井、膏肓、肝・脾・腎・大腸兪、へ置鍼・点灸

	③ 仰臥位 百会、足三里、三陰交に置鍼と点灸 至陰に点灸
	(刺鍼法) (時間)
	(得気)やや有 (深さ)2~6 mm程度
	(頻度)初診日、初診日+3d、初診日+5d の 3 回
	(指導) 自宅灸：至陰 マッサージ：仙骨部周囲
経過	<p>x 年 9 月に初診</p> <p>1 週間後に帝王切開の予定だが、ご本人は自然分娩希望の為、医師の許可を得て鍼灸院に来院した。</p> <p>入院まで病院受診の予定なしのため、結果のわからない状態であるが 3 回の施術を提案した。</p> <p>初診日+3d、鳩尾付近の触診はまだ余裕あり、まだ膀胱付近を蹴られている気がするとの事であった。</p> <p>初診日+5d、前回の施術後より返った気がするとの事であった。胃を蹴られている気がする。</p> <p>初診日+10d、出産後 TEL 有、頭位に改善し自然分娩での出産できたとの報告を受けた。</p>
特記事項	<p>日本医事新報社</p> <p>Q.骨盤位（逆子）への鍼灸治療の根拠・方法と効果は？</p> <p>https://www.jmedj.co.jp/journal/paper/detail.php?id=13295</p> <p>A. 課題は RCT などで検証されている。子宮の血流量を増加させて軟らかくし、胎児を返りやすくしていると考えられる。</p> <p>形井秀一（洞峰パーク鍼灸院院長／筑波技術大学名誉教授）</p>